

【ご案内】ファンド併合について(実施報告)

■ ファンド併合について(実施報告)

年投(株)K44については、リソースの集中を通じたパフォーマンスの安定化を企図し、2020年12月18日、運用スタイルを「クオンツ・バリュー(フロー型)」から、年投(株)K43と同一の「クオンツ・バリュー(ストック型)」と共通化いたしました。
その後、K44を被併合ファンド、K43を併合先ファンドとして、両ファンドの併合を行いましたのでご報告いたします。

1. 併合対象ファンド

資産	国内株式
被併合ファンド	K44 (クオンツ・バリュー(ストック)型)
併合先ファンド	K43 (クオンツ・バリュー(ストック)型)

2. 実施時期

時価基準日	2021年1月19日
併合日	2021年1月21日

3. 異動金額

併合先ファンドへの移管金額	4,530,660,750 円
被併合ファンドの受益者への交付金額*	344,346 円

*併合先ファンドへの移管時に被併合ファンドの時価残高と差額が生じるため、顧客口座に直接入金された金額

- ・被併合ファンドK44で保有する資産は、適正時価でK43へ移管しました
- ・2021年1月19日基準のファンド時価総額
K44: 約45億円、K43: 約817億円

なおK44の投資家が保有する受益権については、次の算式によりK43の受益権として交付しました。

$$\text{K43の交付受益権口数} = \text{K44の受益権保有口数} \times \frac{\text{K44の2021/1/19付基準価格19,464}}{\text{K43の2021/1/19付基準価格12,507}}$$

■ ファンド併合について(実施報告)

年投(株)K60については、リソースの集中を通じたパフォーマンスの安定化を企図し、2020年12月18日、運用スタイルを「リサーチ・グロース(銘柄集中)型」から、年投(株)K67と同一の「リサーチ・ROE向上型」と共通化いたしました。
その後、K60を被併合ファンド、K67を併合先ファンドとして、両ファンドの併合を行いましたのでご報告いたします。

1. 併合対象ファンド

資産	国内株式
被併合ファンド	K60 (リサーチ・ROE向上型)
併合先ファンド	K67 (リサーチ・ROE向上型)

2. 実施時期

時価基準日	2021年1月12日
併合日	2021年1月14日

3. 異動金額

併合先ファンドへの移管金額	1,063,728,510 円
被併合ファンドの受益者への交付金額*	57,620 円

*併合先ファンドへの移管時に被併合ファンドの時価残高と差額が生じるため、顧客口座に直接入金された金額

- ・被併合ファンドK60で保有する資産は、適正時価でK67へ移管しました
- ・2021年1月12日基準のファンド時価総額
K60: 約11億円、K67: 約483億円

なおK60の投資家が保有する受益権については、次の算式によりK67の受益権として交付しました。

$$\text{K67の交付受益権口数} = \text{K60の受益権保有口数} \times \frac{\text{K60の2021/1/12付基準価格36,370}}{\text{K67の2021/1/12付基準価格17,230}}$$